

1. 本授業科目の基本情報

科目名（コード）	医療知識基礎 I		（TCM119）
講義名（コード）	TCM_医療知識基礎 I		（TCM119）
対象学科	国際コミュニケーション学科	配当学年	1学年
対象コース	日中医療通訳コース	単位数	8
授業担当者	MAO WANYI、龔佳奕	時間数	120
成績評価教員	MAO WANYI、龔佳奕	講義期間	春学期
実務者教員	はい	履修区分	必修
実務者教員特記欄	本授業は、業界の専門家による実務授業科目である。	授業形態	講義

2. 本授業科目の概要

到達目標・目的	医療通訳として必要な医療基礎知識を身につける。
全体の内容と概要	四つの系を9課ずつ学ぶ。解剖学という物理的な視点、生理学という生物化学の視点から人体器官の働き・機能を理解した上で、それらに関連する疾病を病理学の視点より分析し、疾病の症状・治療をより深く理解する。
授業時間外の学修	毎回、授業を開始する15分間前に先生が前回の授業に関する内容を問題提起し、学生たちが回答するという形式で復習する。これを学生の評価基準（平常点）とする。
履修上の注意事項等	

3. 本授業科目の評価方法・基準

評価前提条件			
評価基準	知識（期末試験点） 60%	自己管理力（出席点） 30%	協調性・主体性・表現力（平常点） 10%
評価方法	期末試験の点数	出席率X 0.3 (小数点以下切り上げ)	授業中の活動評価点 (5点を基準に加点・減点)
成績評価基準	評価	評価基準	評価内容
	S	90～100点	特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。
	A	80～89点	優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。
	B	70～79点	妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。
	C	60～69点	合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。
	D	59点以下	合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。
	F	評価不能	試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。

4. 本授業科目の授業計画（MAO WANYI）

回	到達目標	授業内容
1	細胞	細胞の構造と仕組み
2	遺伝	遺伝子の定義、一般的な働き方
3	遺伝子組み換え	遺伝子組み換え研究の応用と現状
4	大脳 1	前頭葉、側頭葉、頭頂葉、後頭葉構造
5	大脳 1	大脳半球の灰白質（大脳皮質）、白質（大脳髄質）
6	小脳	平衡感覚、大脳皮質からの情報を受ける、運動調節機能
7	脳幹	間脳、中脳、橋および延髄から構成、中継する機能
8	記憶	海馬から大脳皮質への記憶の転送の新しい仕組み
9	脳疾患	脳梗塞、脳出血、くも膜下出血、一過性脳虚血発作等々
10	脊髄	脳と身体の各部とを連絡し、知覚・運動の刺激伝達、反射機能
11	神経系 1	神経組織、情報の伝達を行うニューロン、グリア細胞、オリゴデンドログリア、アストログリア
12	神経系 2	末梢神経：脳神経、脊髄神経／体性神経、求心性神経、遠心性神経、自律神経
13	神経痛	末梢神経が圧迫、炎症で刺激等々の仕組み
14	脳画像	一般的な脳画像判断
15	総論	復習、総論

4. 本授業科目の授業計画（龔佳奕）		
1	呼吸器の構造について理解する	喉・声帯・気管・気管支構造
2	呼吸器の構造について理解する	肺の構造
3	呼吸器の機能について理解する	ガス交換のしくみ
4	呼吸器の機能について理解する	呼吸のしくみ・内呼吸のしくみ
5	主な呼吸器系疾患について理解する	気管支炎・肺炎・肺がん
6	循環器の構造について理解する	心臓の構造及び心臓のはたらき
7	循環器のしくみについて理解する	血液循環のしくみ
8	循環器のしくみについて理解する	血管のしくみ・血圧のしくみ
9	主な循環器系疾患について理解する	狭心症・心筋梗塞・高血圧・大動脈瘤
10	血液のしくみ及び血液の働きについて理解する	血液のしくみ・血液の働き・リンパ系のしくみ及び働き・主な血液病
11	消化器の構造について理解する	消化管の構造
12	消化器のしくみについて理解する	食道・胃のしくみ
13	消化器のしくみについて理解する	小腸のしくみ（十二指腸・空腸・回腸）
14	復習	春学期授業のまとめ
15		期末試験

5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等	
教科書	からだのしくみ事典
参考文献・資料等	カールソン神経科学テキスト 第4版－脳と行動 Neil R.Carlson(著) プリント配布
備考	・本教員は、医療関係者として、日本及び中国にて看護師資格を取得し、中国にて同職を歴任し、本校の実務教員として指導している。